京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

本紙定價 一枚金三錢 一ヶ月金六十錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料 五號活字一行金三十錢
發行兼編輯人 [illegible]
印刷人 [illegible]
發行所 京城新報社

雜録

漢城より 北韓山生

▲何でも本欄に記せし如く、漢城衛生の事業は著しき奏功を見し候、然るに今回警察權の委任と同時に監督者の變動すべきも、希くば從來の精勵を繼續せられ度きもの也、

▲警察權統一の結果として警察官の罷免多きやに聞及び候、現角の評はあれども、比較上、官吏中警察官程清廉にして常識の發達せるは鮮し、制度の變革に因て罷免は萬已むを得ずとも、捨つるに惜しきものに候、他の方面に於て其穩健なる對社會知識を活用せしむるの詮議有らまほしきことに御座候、

▲朝鮮日日は、秘密結社を殲滅すべしと論議せり、吾等は既に久しく同樣の考を有し居りしも、左顧右眄未だ敢て呼號し能はざりしもの、今日は自己の怯を笑ひつゝも禁じ難き快感を覺え候

▲東亞煙草會社の製品が專賣局のそれに劣れるは事實なり、支配人佐々木君は然る筈なしと云へり、然れども事實は事實なり、吾等の試みたる處に依れば朝日は先づ／＼可なるも大和に至りては劣惡與し難きを覺ふ、想ふに佐々木君の辯護説は其の得意の浪花節の如くには、受ばられざらん、佐々木君たるもの茲緊褌一番せずんば、同社製品の聲價地に墜ちん也、

▲米人ウオギーといふ者、護謨輪の人力車にて世界を一週せんと企て、目下神戸に於て其の準備中なりとか、平素は吾等も何心なく人力車にも乘り、叱りつけて路を急がすこともあれども、世界一週と聞きては今に屈れたる車夫高田といふ者、固より當人の志望ならんも、唯何となく憫まれ候、社會事業に志ある者の一考すべき事柄にて候。

▲米國上下兩院にては、萬國協商の上平和會議を開き、武裝制限等に關する各國共同協議を爲さんとて之れが準備委員五名を選擧するに決せり、而して其委員長はルーズヴエルト氏ならんと紐育電報に相見え候、斯る事の如何なる結果を來すべきやは、今遽かに判じ得べきに非らざるも、感情を基礎とせる推理の發表せらるべきは逆睹し難からず、兎に角眉毛に唾すべき問題にて候

韓太子の御見學

別項韓太子御巡遊に關し栗原御用掛の語る所に依れば殿下は最早中學程度の普通學科を御講究中なるが本年よりは普通御課程の外徐々に軍事教育を受けさせらるゝことゝなり同時に歴史、地理其他商工業上の實地を御覽ありたき思召にて扨てこそ今回の御見學を思ひ立たせられたる次第なりまづ鎭海鎭守府を御巡覽あらせられ軍艦にて天の橋立網代港、津居山、城の崎等を經玄武洞御覽の上豐岡に出で轉じて宍道湖等を御周遊あらせらるゝ筈にて不知不識の間に海事志想の御發達を促し奉る事となるべく歴史及地理學上の御參考としては後醍醐帝の舊跡たる船上山、名和神社、出雲大社、湊川神社等御參拜あり布引瀧岩國錦帶橋岡山後樂園并びに近江八景等をも御巡遊あるべく同時に各地方の物産及商工業の現状殊に川崎造船所等をも御見學ある筈なれば太子智識上に稗益する所蓋し鮮少ならざるべし

ミュンヘンビール

日露協約の精神

日露新協約が交渉が圓滿に進行しつゝあるは事實にして此處數日の間には一切の手續を了して兩國政府より同時に發表せらるゝに至るべし其の内容は千九百五年九月五日締結したる日露講和條約の精神に基き極東に於ける兩國利權の擁護を確實にし將來第三國が兩國の利益を無視し極東の現状を破壞せんと企つる場合兩國政府は其の態度を同一にして之に應酬せんとするに在りて本協約の存するを忘るべからず故に其の條文の如きは極めて簡單にして何等珍らしき事件を規定せざるべし蓋し日露戰爭後の露國は東に日露協約あり西に英露協約ありと雖も同國近時の國際的位置は甚だ旺なりと云ふべからず又同國が唯一の活動的立脚地たる滿洲の地に於ても其の施設計畫の動もすれば局外國の誤解を買ひ妨害を招くを常とすれは利害關係密接にして一部其の境遇を同ふする本邦と相提携して列國に對し豫め其の源因を剪除し置くは此の際最も機宜に適したる措置にして又對滿外交上益する所多かるべきを信じたるが爲めなるべし故に今回の協約に於ては我國の利益よりも多く露國の利益を確保するに努めたり然れども兩國が同盟を結ぶに至りたりとは全然誤報にして極東の現状及び日露兩國の關係は未だ決して其必要を感じ居らずと云ふ

俳句

◎夏（植物）五句 多田千春

月雪を待つ氣か竹の植處
濡れ色に東雲深し若葉山
草庵や梅と柳を夏木立
長幼の序あるが如し今年竹
たち易き月日に長し百日紅

講談

大岡政談 越後傳吉 第十二回 旭堂南陵講演

傳「ハヽア、何日頃れ歸りになりやすかのう 女房「さうでございますねへ、マア一月向ふで歸るやら二月も費るやら、都合に依つたら一年も遊んで來るかねへ貴方……」傳吉これを聞くと入口でペタ／＼と平座つた、飯を食はず腹は餓いし、懷中には金がなし、只た一人の頼寄る人が一年も經つて戻るか戻らぬか分らぬといふこりやア、傳吉平座つた筈です 女房「何うなすつたんでございます、そんなところへ座り込んでしまつて……」傳「ハイア、ねらいことになりました、私ア源兵衛様を訪ねて來たんでございますが、源兵衛様がうんなに遠方に御座つちやア、ヽヽアねらいことになりました 女房「れ利受はよういたしませんが、宿屋ぐらゐなら御案内して上げませう 傳「ナーニ私ア宿へ泊るにも錢がねへでがす 女房「ホーラ決つてるわ、越後邊から來る奴に小使錢を持て來た奴はないんだからね異個にそれぢやア仕方がありませんねへ貴方……」傳「ハイ」傳吉は何うしたら宜からうと平座たまゝ途方に暮れて居るところへそんな事とは知らず濡手拭を携げて戻つて來たのは源兵衛 源「れまつ今歸つた まつ「オヤれ歸り」源「何だいこの人は入口に平座てるのは……まつ「一寸れ前さん默つて奧へれ入りよ」源「だつて入口にこんな人が居るぢやアないか まつ「仕樣がないね何所へ行つて居たんだい 源「何所へ行つたとまつ「嫌いつて決つてるぢやアねへか まつ「嫌だよ此人は…… 傳「モシ貴方は源兵衛さんでムいますか 源「私ア大和屋源兵衛で…… まつ「一寸れ前さん……一寸不可よ此人はた前何ぢやないかね、長崎迄行くんぢやアないか 源「何だ私が長崎まで江戸くんだりから行く、何をいつてるんだ まつ「イヤねへろれ、上方見物に行くてぢやアないか 源「恍るなよコン畜生、湯に入つて來るといつて湯に入つたんぢやアねへか……た前さん何ですかい何所のれ方で…… まつ「この人は一寸越後の、寶田村から來た人なんだよ、だかられ前が上方へ見物に行くんだといつて今れ斷り申して居るんだもの」ヒヨイと氣が着いた源兵衛が 源「アヽさうか、分つた、ソレ上方見物しやうと思つて出掛けるんだが [illegible] 傳「エツ井上傳吉……あの井上傳右衛門さんの孫の、本家の小旦那でがすかい 傳「ハイ」源「マア飛んでもねへこつだ、ヤイコン畜生め、大概人を見て話をしろよ間拔め、汝に平生から預つてあるぢやアないか、大變な御恩につたれ方は、このれ方の祖父さんより外にねへのだ、乃公が斯うやつて江戸へ來て何うか斯うか一人前の稼業を營つて行くのは、このれ方の祖父樣の庇樣だといふことをいつてるぢやないか、この間拔め、宜い鹽梅に追拂つてしまふ人間と、周旋をするれ方とは少し見分けなくちやアならぬ間拔め、マアヽそんなところに座つて何うするんです、サアヽどうぞれ上りなすつて、ナーニ實のところは長崎の方へ行くのは嘘言でございますから、どうぞ御安心なすつて」傳吉驚いた江戸といふところはまだ會ふて座敷へ上らない先きに嘘言をいふのか知らぬと思つた 傳「ヤア有難うございます 源「よくれ來でになりました、エヽ彼方から來る者に話しは始終聞いて居りました、貴方はまださうでございましたねへ、私が寶田村を出る時には六ツか七ツくらゐの坊ちやんだつた、其時分に村を飛出したのでございますから跡で來る者に聞いて見ると旦那樣は亡くなつて、貴方のれ父さんも割合に夭折をなさいまして、大層親孝行で正直な小旦那だと來る人毎に賞めて居りました、マア庇蔭で私もこんなマア稼業をして氣樂に暮して居ります、能くれ來でになりました小旦那、れ話し申したいこと甘幾らもございますが、兎に角れ疲勞でございませうから、一寸れ湯へでも浴つてれいでなさい、若い者を附て [illegible] 御案内申ます、身體をサツと洗つて疲勞を休めてくだされ

◎新刊紹介

▲東京經濟雜誌（一五四八號）[illegible]
▲韓國新聞月報（三號）[illegible]
▲黒髪（六月號）[illegible]

廣告

着任す
外科部長 後醫學士小林千壽氏
京城明治町 電話二…番
漢城病院

仁川港 三巴醬油釀造場

日本醬油株式會社

二十世紀之新劑
月經不順 子宮病を全治す
月經丸

新荷着
英國皇室御料 コンマンダー
英國製 スヰトホーム
京城本町二丁目 自轉車 居商 織 店部
（電話四百八十番）

○七月三日京城壽町壽座に於て
○講師金光教々監督大教正 佐藤範雄師
◉通俗大講演 午後一時より入場 二時開講（入場無料）
演題 國運の發展と國民の態度
（注意）時間を嚴守し開講後は入場御斷申候

陶磁器卸小賣
官製煙草元賣捌所
土管煉瓦販賣元
米國新式機械製造 土管懐炉壺
京城本町二丁目 肥 陶榮商店 電話百拾參番

京城待合案内（いろは順）
南山町一丁目 入船 電話一一三五番
本町一丁目横町（支那領事館前） 春日 電話九〇七番
南山町二丁目入口 やしく 電話一一二九番
本町五丁目 月の家 電話一〇七六番
永樂町一丁目 嬉野 電話一四四四番
南山町二丁目 八島 電話一二八八番
初音町二丁目 松の家 電話一三三九番
南山町一丁目 この花 電話一〇二五番
壽町三丁目 壽 電話一一二二番
南大門通三丁目 紅葉 電話一三八二番
旭町二丁目 醉月 電話一二八五番
旭町一丁目 住の家 電話六七六番
京城待合案内

東京電報

▲旅順開放程度 旅順港開放に伴ふ旅順港則の改正要點如左
一、旅順口の中西港を第三區とし内外國船舶の自由に出入する事を許す
二、西港は之を開放するも軍港の一部となるを以て之に出入する艦船は軍港規則に準據せしむる事
三、現行[illegible]の制限寬大となり艦船の出入に關したる結果[illegible]規定する處に任せらる
四、出入艦船五百噸以上のものは出入に就き[illegible]
五、水先案内[illegible]
[illegible]令長官の[illegible]港務部長[illegible]（同上）

▲軍事費の増加 現内閣の財政十ヶ年計畫は各種繼續事業費總額十二億千二百萬圓にして之に四十四年度より繼續すべき鎭海灣防備費を合し關門海峽及築港費、神戸[illegible]（同上）

▲皇后陛下行啓 皇后陛下は今二日午後一時三十分御出門[illegible]行啓[illegible]（同上）

▲國債と金融界 金融界は國債償還の影響を受け[illegible]（同上）

▲軍艦生駒消息 軍艦生駒は二十九日セントに安着[illegible]（同上）

▲錦愛線の經過 錦愛鐵道[illegible]

[illegible]反對を[illegible]露國牢官報に勿論[illegible]一致して反對の歩調を爲[illegible]（同上）

▲國民黨調査方針 國民黨政務[illegible]曾にて決せられたる[illegible]りと認めたるものは[illegible]研究に附する筈（同）

警務總監部に就て（部長明石少將の談）
新設警務總監部長明石少將は一日草創忙裡記者に語りて曰く[illegible]今回の警備機關[illegible]仰々敷傳ふるが[illegible]護政治の遂行上當然[illegible]改めたるに外ならず[illegible]のにして謂はゞ[illegible]何人も知る如く二重[illegible]爲め其間相互の連絡[illegible]らず行政經濟上の損[illegible]からず現に一地方の[illegible]南三樣の機關ありて[illegible]もしつゝあるが如き[illegible]る所以にあらず則ち[illegible]置にして豈に又武斷[illegible]警察機能の縮退どか[illegible]統一と共に益々[illegible]計り十三道の治安保[illegible]からしめざるべから[illegible]の組織を揣摩して從[illegible]能く淘汰せらるゝが[illegible]に事情を誤解せるも[illegible]かる考を有せず更に[illegible]長短を相融和し相利[illegible]運用に努むべきのみ[illegible]は毫も異動なきを期[illegible]二三の警視中に休職[illegible]制廢止の結果已むを[illegible]して陶汰の意味に非[illegible]變更に伴ひ上班者に[illegible]見て直ちに其影響を[illegible]測するは今回改革の[illegible]のにして徒らに人心[illegible]予の最も遺憾とする[illegible]

憲兵隊長の任命
[illegible]統監府警察官署官制第[illegible]警務部長には佐官の[illegible]に充つる事となりたる[illegible]部にては極めて秘密[illegible]りしが左の如く決定したりと
[illegible]兵中佐 藥師川常義
[illegible]兵中佐 石井權藏
[illegible]部長 少佐 水間春明
[illegible]
同 中佐 杉村勇次郎
任平壤憲兵隊長
任平安南道警務部長 少佐 寺平宮吉
同
任春川憲兵隊長
任江原道警務部長 中佐 隈部親信
同
任鏡城憲兵隊長
任平安北道警務部長 少佐 白山靖
同
任元山憲兵隊長
任咸鏡南道警務部長 少佐 前田昇
同
任晉州憲兵隊長
任慶尙南道警務部長 少佐 櫻井茂三郎
同
任公州憲兵隊長
任忠淸南道警務部長 少佐 鹽澤義夫
同
任海州憲兵隊長
任黃海道警務部長 少佐 笠貞治郎
同
任光州憲兵隊長
任全羅南道警務部長 中佐 吉廣庚
同
任全州憲兵隊長
任全羅北道警務部長

副統監の入京期（二日出帆四日仁川着）
山縣副統監の一行は二日午後四時二十分萩を出帆し四日午前十時仁川に入港同日午後二時二十五分仁川發同三時四十九分京城着の豫定なるが海上風波の爲途中に假泊せらるれば遲着すべきも多分豫定の通り入京さるべしと

●京城警察署の配置 警務總監部の直屬に係る京城警察の配置は鍾路の堀割を中心として南北に別ち南部警察署及北部警察署の二とし從來の各警察署は其分署とするに決したり更に皇宮警察署及龍山警察署を置き合計四警察署とし其署長には左の如く決定したり
南部警察署長 警視 今村鞆
北部警察署長 同 鈴木重民
龍山警察署長 同 濱島尹松
皇宮警察署長 同 呼子友一郎
尙ほ北部警察署は現中部警察署を以て是に充つる筈なり

●土地調査と地方民 先月より土地の調査に着手したる陽川地邵方の狀況を聞くに地方民の感情に就ては何等徴すべきものなきも先きに加谷面に於て境界踏査に用ひたる標杭の文字を削り或は之れを拔き去りたる者ありしも郡守の訓示に依りて今は斯る惡戯を試むる者もなきに至れり又土地の申告に就ては地方民の多くは文字を解せず且つ地方の大部は京城其他へ居住するが故に申告書の提出は自然遲延するを免かれざりしが是亦郡守の督勵に依りて三井、加谷地方は全部提出し何等の異狀なしと

●統監と道路の標準 從來の道路改修の方針は財政の都合にて餘儀なく道幅四メートルを最廣標準となし本年度の工事も同標準に據りつゝあるが寺内統監は是を改め今後は一等道路七メートル以上二等は五メートルを降るべからずとの下命ありたるに就き當局は既定設計の變更に就き目下手當中なりと

●總監部に入る警視 元警務局及警視廳に在勤せる警視にして警務總監部に入るべく確定したる人々は左の諸氏なり
警務局 中里有光、玄角仲殿、増喜明の三氏
警視廳 永谷隆志、青木戒三、谷川金一郎の三氏
にして民籍課警視齊藤禮三氏は某部に轉勤を命ぜらるゝ筈なり

●京城分隊長の任命 憲兵隊司令部にては別項警察署配置の變更と共に從來の筆洞本町の兩分遣所を廢止し二分隊を設置する事に決定し分隊長は左の如く任命內定せりと
京城憲兵第一分隊長 憲兵大尉 大橋常三郎
京城憲兵第二分隊長 憲兵中尉 村田多忠

社會小言

▲本年はラテンアメリカ諸國にとつて記臆すべき年なり、アルヘンチナ共和國は建國百年の祝典を擧げ、メキシコ、チリの二共和國は獨立百年の祝典を行はんとす。

▲アルヘンチナ、メキシコ、チリ今は立派なる共和國なれども百年前に在つては何れもスパニシ帝國の殖民地たり、スペインは此等殖民地を如何にして失ひたるか。

▲史家說明して曰くスペインの殖民政策は誅求政策なり、徒らに多數の官吏軍隊を派して殖民地の誅求に勉む故に其三百年間の統轄に於て遂に土着民の歸服を見ずと。

▲記者往年南中米に遊ぶ、到る處スペイン統轄時代の荒墟を見る、巨砲、拷問器等壘々として昔時の暴政を語る

▲スペインの暴政に苦しみたる者は只に土着民のみには非ず、本國よりの移住民も同樣也、誅求の爲に派せられたる官吏軍隊も同樣なり、故に是等暴政に苦しめるの同病者は相抱いてカステリアの朝廷を呪咀す、歐洲の動亂に乘じて獨立の旗揚げを爲す宜なるかな。

▲創めスペインの是等三殖民地を獲るや遂るに官吏、軍隊、傳敎師を以てす、官吏や軍隊や終を全ふせずして止む、而かも傳敎師に到つては獻身以て人心の開拓に勉む。

▲ラテンアメリカの今日ある實は傳敎師の賜なり、遂莫れ三殖民地遂にスペインに叛せりと雖ども羅馬法皇に對するの誓を絶たず、今や三共和國同年を以て未曾有の大祭を擧ぐ法皇の得意思ふべきなり。

●總監部分課と主任 警務總監部の分課規定は未だ發表あらざるに依り其詳細を報道し得ざるも左の如き分課となり主任も夫々任命せり
官房 永谷警視
警務課 中野警視
保安課 玄角警視

●若林前總監の訓示 元內部警務局及び舊警視廳に在勤したる判任官以上の者は二日午後一時半より舊警視廳官房に參集し若林前警視總監より今後の心得に付き訓示を受けたり

理事官權限定まる
警務總監部官制發表の爲め現行理事官々制に撞着の點なきやを昨紙報道せしが統監府は二日各理事官に公文を發し從來と其權限に於て何等異動なければ其官心得べく通達したり

●休職者と特別恩賞 今回警察機關組織變更の爲め休職の厄運に遭遇せる人々は頗る同情に價するを以て普通辭任の場合に於ける例に依らず特別厚き恩賞あるならんといふ

●憲兵將校會議終了 憲兵司令部に於る各隊將校會議は二日終了し明石司令官より一場の訓示あり

●獨立祭園遊會 米國總領事館に於ける獨立祭園遊會は四日午後八時より十時迄なり

●農務局會議開催 農商工部農務局に於ては林局長は局員を會し米種改良其他產業に關する協議會二日正午開催

●大久保氏の招宴 龍山民長は一日夜龍山民團議員及び民團吏員一同を八景園に招待して慰勞宴を催したりと

●元警視廳舍の跡 元警視廳の跡には京城憲兵隊の分隊を設くべしと云ふ

滿韓移住の邦人

小村外相が第二十六帝國議會に於て移民方針の質問に答へて日露戰役の結果帝國の地位に一變を來し本國近接の地に帝國人民の平和的に發展し得べき廣大の區域を發見したれば最早や遠隔なる外國の領地内に民力を散布せしむるの必要を認めず爾今國內餘剩の人口は可成之を人種を同ふする滿韓方面に集中し以て大和民族の安全なる發展を圖り併せて國家永遠の繁榮を期せんと欲す然れども此の方針たるや單に「移民」を集中するの故にあらず實に「大和民族」の集中にして本邦は將來帝國の領土及び其の附近の開發の爲めに其の有する全力を傾注せざるべからずと聲明したる以來時を經る僅かに半歲未だ其の成敗を云々すべき時機に到らざるは勿論今回拓殖局の新設に依りて外相の所謂民族集中の大政策は茲に即ち一時機を劃せるものと云はざるを得じ然れども本邦の移民政策は依然として同方面を主眼とせられ滿韓の拓殖事業は將來異數の發展を見ん事疑ひなし然るに滿韓の兩地は從來諸種の關係上邦人の發展意外に遲々たるものあり之を列國の治績に徵するに五年の歲月を閲したる殖民地としては未だ遽に其の成功を稱すべからざるが如し將來之が經營の任に當る者非常の努力と攻究とを要すは云ふまでもなき所なるべし今試みに當局者が最近調査したる統計に基き滿韓各地に於ける邦人及び其の戶數を擧ぐれば左の如し

▲韓國之部

	人口	戶數
釜山	二六、九六四	七、三三六
馬山	八、三〇九	二、三〇三
群山	七、四三八	二、三六六
木浦	六、六五五	二、〇二三
京城	四〇、八二一	一二、八一四
仁川	一二、八七九	三、五一〇
平壤	一〇、五四〇	三、二〇九
鎭南浦	三、八一八	一、一五九
元山	七、二八〇	二、一五五
城津	五六〇	一八四
大邱	八、三二四	二、五三〇
新義州	四、九一二	一、七三〇
淸津	六、二三三	二、〇一五
合計	一四四、七三五	四三、二九八

▲滿洲之部

	人口	戶數
旅順	二九、七七三	九、一九六
安東	五、一〇四	一、七六五
奉天	三、五四〇	一、〇五六
遼陽	二、七八四	八六九
鐵嶺	三、四一三	一、二一七
新民府	一五	三二
牛莊	四、二八九	一、三八五
長春	四、五〇二	一、三七八
吉林	[illegible]	六七
哈爾賓	[illegible]	一六九
齊々哈爾	[illegible]	五八
合計	五四、七六九	一七、一九二

各銀行の預金高

六月十五日現在京城各銀行の預金高は左の通りにて之れを五月十五日現在と比較する時は公金預金二萬九千二百三十三圓定期預金三萬八千六百三十三圓當座預金二十四萬三千百二十六圓を減じ特別當座預金一萬九千百三十六圓諸預金二万九百五十一圓を增加せり
公金預金 九十八萬一千四百五十圓
定期預金 二百三十二萬千五百四十二圓
當座預金 二百五十六萬六千五百十一圓
特別當座預金 百四十萬八千八百二十五圓
諸預金 百五萬七千二百六十二圓
合計 八百三十三万五千五百三十九圓

●仁川會議所の會頭 仁川商業會議所總會を去る一日午後八時より開き役員の互選を行ひたるが其結果會頭は加來榮太郎氏の五點に對する七點にて青木一葉氏當選し副會頭は六點にて森常吉氏當選したり次に常議員及特別議員の選擧を行ひし結果左の如し
常議員 村谷吉藏、奧田貞次郎、田中佐七郎、稻田勝彥、
特別議員 岩崎直英、淺井義明、宮木又七、太田三郎

●明石司令官の招宴 警備機關の統一も遲滯なく進捗したるを以て憲兵隊司令官兼警務總長たる明石少將は在京憲兵將校と警務總監部の警務官警視相互の紹介且つ親睦を計る爲め憲兵警察の高等官七十餘名を二日午後七時より京城ホテルに招待したり尙は當日は岡前內部次官松井前警務局長及若林前警視總監も出席したりと

●漢城病院外科部長 今回漢城病院外科部長として來任されたる醫學士小林千壽氏は去る四十一年東京帝國大學卒業後大學病院助手となり次で田代博士の院長たる三井慈惠醫院に奉職し田代博士の信任頗る厚かりしを強て安藤氏が招聘せしものなりと斯かる新智識の良國手を得たるは公衆の爲め喜ぶ可き事共なり

●學生と汽車賃割引 韓鐵管理局にては夏期休業中に來遊すべき東京高等商業、長崎高等商業、神戶高等商業學校生徒等に對し全線三等に限り五割引を以て乘車せしむる事とし一日より實施したり

●水野參事官の出發 滯京中の水野內務省參事官は京城各官衙の視察を遂げ二日大邱へ向け出發せり而して同夜大邱一泊三日馬山に赴き玆に一泊して四日釜山より歸韓の由

●內部關係官送別會 內部所管の各官衙に奉職せる人々は岡前內部次官松井元警務局長若林元警視總監の三氏を三日午後六時より花月樓に招待して送別會を開く由

●岡喜七郎氏送別會 內部高等官を始め岡氏在官中の知人數十名は三日午後六時より花月樓に於て同氏の送別會を催すべしと云ふ

●京釜京義兩線收入 六月中京釜、京義兩線の收入左の如し
客車收入、京釜線十五萬六千四百八十三圓餘、京義線五萬五百二圓餘
貨車收入、京釜線八萬七千百五十二圓餘、京義線六万七千九百五十五圓餘、合計三十二万二千百四圓餘

●韓留學生布敎出張 當地在住韓人宣敎師全德基氏は在東京韓國留學生布敎の爲め出張したり

●永田書記官入京 忠淸北道書記官永田幸太郎氏は一日入京不知火に投宿

●宇野判事の入京 春川區裁判所判事宇野美苗氏は一日入京浦尾旅館投宿

植村正久氏の演說

一日夜滯京中なる植村正久氏は鍾路基督靑年會館に於て左の意味の演說を爲せり（一記者）
世に無神無靈魂を說く者あれども幵は深く研究せざるが爲めのみ、若し人間にして草木と同じく現世にのみ生きるものならんには其の結果は如何なるべき、必ずや存在の意義を索ぬるに由なかるべし、或は信仰なしに道德に離れ依らんとするあれども、如斯者書へば挿花の如けん、實も無き一つの爲めのみ、抑も信仰の要不要を說く者は何を根據として其の說を爲せる乎、人は内に我を求めてすら我が心の動と靜とに依て既に差あるものなり、去れば本人の自覺せざる處にも信仰の必要あり得ることを拒む能はざるべし、故に其面目に深く我を捉ふるを要す、斯くて初めて我が考慮の價値ありとなす、然らば信仰の要訣は那邊に在りやと云ふに現在に滿足せざるに在り、卽ち熾烈なる向上の意志を養ふに在り、基督はパリサイの人を嫌へり、彼等は道德家の如く、其の不善を行はざることを以て高しとせしが爲めなり、基督の敎は高きより更に倍々高きに進むべきを示す換言すれば精神上の進步主義なり、而して其進むべき方面は愛の所在なり、進み進むで愛は終に神に歸し、更に愛を神に承けて之れを他に施す、之れ乃基督敎の眼目なる云々

▲治外法權▼

山縣副統監の談話に曰く韓人に對しては勉めて叮嚀親切にしてやらなくてはいかぬ、韓國に日本の佛敎を注入し韓國の人心を佛敎に因つて支配すべしと云ふ議論もあるようだ、之に對しては本願寺の大谷伯が何か計畫して居ると云ふ事だ▲亦曰く韓國の皇帝御來朝の事は自分は何にも聞いては居らぬが果して日本へ御來遊になれば日韓兩國の爲め極めて良い事であらうと思ふ云々▲記者思ふに韓人に對して叮嚀親切にせんければならぬ事は山縣の言ふ通りだ、併し誰れの議論か分らぬが生命なき日本の佛敎を以つて半島の人心を支配し得べしと考へるはトンデモない間違だ、墮落坊主の大谷が何を計畫したつてソレはダメだ▲韓帝の日本漫遊若し實行されたら第一御本人の爲だ、豈日韓兩國の爲のみならんやだ▲今後の內部行政に關しては宇佐川男と兒玉伯とが顧問となつて盡力するとの噂がある、まさかと思へど一說として揭る▲今度本國へ歸つた獨逸の大使ムンムは先立て當地を經て大連へ行つた、都督府の接待員は彼が他の觀光客と同じく旅順戰跡の見物をすることゝ思つて居た、而るにムンムは大連滯在中一回も戰跡へは行かず重に獨逸商品の待遇及び貿行に就いて調査を遂げて歸つた▲今度多數の警視警部が休職になつたは氣の毒な事だ、併し制度の變更とあれば仕方がない、兎角世の中は新陳代謝だ▲支那の密漁船が五十艘計り亦々群山沖に現はれたとて大騷ぎだ、愚にも附かぬ騷ぎとはコンナ事だ。

日露協約
日露協約發表期は[illegible]（二日東京發）

[illegible]舊五月廿六日 七赤[illegible]半夏生△一白 概し[illegible]合 訴訟中し△二黑 家族又其他吉△[illegible]忌む煩累あり[illegible]轉居間起り易き日盗△[illegible]新事見合せの事△
四綠 婚姻作同組合談議に好し其他不[illegible]事の日諸事手控への事△五黃 貸借保證を禁ず事業始め婚姻旅行命名披露に尤も適す△六白 旅行轉任轉業事業始め婚姻吉普信異事を報するあらん△七赤 厄運田なる諸事手控へ事萬爭論機密漏洩等口舌の難を避くべし△八
白 親疎のため損害失損多き日其他吉△九紫 新事及改易の事見合すべし旅行貸借保證談議効擧らず
七月四日 舊五月廿七日 六白 先勝 庚午 建△一白 隆盛の運賣買取引進んで吉不動產上の事注意すべし△二黑 快放日大抵吉婚姻旅行披露命名に妙△三
碧 挫折の日新事見合せに留意すべし△四綠 障多し尙不和中絶離くべし△五黃 心の日大抵吉但交際上の破れ多し△六白 根據印章の事注意すべし尙療病衛生に留意すべし△七赤[illegible]疑容にあふ[illegible]
[illegible]頻累あり其他平凡△九紫 新事見合せの事盜失遺失防くべし（三一館判斷）

●日本メソヂスト敎會 理事鑑橫名古屋城內の同敎會にては二日午前九時より山口照平氏の聖書研究同十時半より[illegible]牧師の[illegible]說敎「[illegible]」後八時より同牧師の傳道說敎「必然的救濟力」あり一般人士の參聽を希望すと

●[illegible]基督敎會[illegible]では二日午前九時より日曜學校同十時[illegible]說敎「[illegible]」[illegible]後八時より同敎師の傳道說敎「靈眼透徹」あつて一般人士の參聽を希望すと

●[illegible]敎會[illegible]監督佐藤範雄師は三日午後二時より同[illegible]

シガア、シャンピン、ウヰスキー、キリンビール、タンサン水
卸小賣
洋酒 煙草類 食料品 美術品 直輸入商
京城本町二丁目
辻屋
本店電話[illegible] 支店電話二一六

● 日露協約發表期 日露協約は今二日露國首都に於て調印され而して七月四日を以て上奏後同時に發表せらるべし(二日東京發)

今日の運勢 [illegible] 舊五月廿六日七赤 [illegible] 但し[illegible] 一白 [illegible] 訴訟中 [illegible] 家族 [illegible] △四緑 婚姻組合談議に好し其他不[illegible]事[illegible]旅行命名披露[illegible] △五黄 貸借保[illegible] △六白 [illegible] △七赤 [illegible] △八白 [illegible] △九紫 新事及改易の事見合すべし旅行貸借保證談議効果らず △一白 先勝庚午建 △二黒 吉不[illegible] △三碧 挫折の日新事見合せの事 △四緑 金品授受取引故障多し尚不和中絶起り易し △五黄 [illegible] △六白 [illegible] 心の日大抵吉但し印章の事注意すべし △七赤 生に留意すべし △八白 [illegible] 爭端を釀し易し

英吉利の醜業婦

▽欧羅巴へ渡る淫賣の徑路

さて種々外國行きと相談が纏ると、世話人と稱する奴等は娘に素晴しい服裝をさせ、自分は其の婦人の[illegible]れ伴と云ふ格で汝に連れて行く[illegible] 人の眼にも豈耳これが醜業婦に賣らるゝと云ふ譯だから港務部の役人も[illegible]れに行く女だとは見れねで取調も何も一切爲ないで通して了ふ[illegible]に相違ない、其所で船から上陸[illegible]で女郎屋に撒り込まれて奴隷同樣の境遇に陷れられて了ふ[illegible]抵先づ誘拐されて來る途中[illegible]の爲めに姦されてしまふ[illegible]男は此の弱點を[illegible]夢中[illegible]女から莫大な收入を受ける[illegible]屋の亭主は數人の情婦を持つて居[illegible]

▽男自身も時々は貴族に

[illegible]方へ出掛けて行つて[illegible]も時々は貴族に[illegible]若くば大臣のやうに[illegible]遣らして居るかと思[illegible]斯樣にして一方で[illegible]場合に依つては立派な令嬢にもなれば粋な[illegible]に出して稼ぎを遣[illegible]れば彼等は情婦を仕[illegible]假りに京城に根據[illegible]

海岸地方へ出掛けて駈落

[illegible]面の好き相な娘を引掛けて[illegible]場合には大抵女は金を[illegible]男の考通り何うにでも[illegible]知らぬ他國へ連れて[illegible]哀れな娘は二三日[illegible]な醜業婦として何處か[illegible]るかうれでなくば醜業[illegible]積出れるのである(終)

眼先の見へぬ藝人

▽彼等の失敗する所以

近來はだん〳〵毛色の變つた藝人が見へる樣だ、寄席には落語の金馬、浪花[illegible]遊三、又歌舞伎座へは[illegible]雲が來ると云ふ有樣だ[illegible]のは彼れ等諸藝人が京[illegible]金視して居る事である[illegible]樣もの〳〵團體ばかりを[illegible]で滅法高い入場料を取[illegible]りも仕打の方が横着な[illegible]座の金馬杯は席[illegible]京の藝人を揃へて[illegible]は初めてゞ坏ご馬鹿に[illegible]て居る、見物中には、京城生へ拔きのものは一人も[illegible]は知らぬのだ、京[illegible]芳村伊三郎が來[illegible]は延壽と梅吉[illegible]敗北して歸[illegible]巴里へ二週間で直[illegible]通る京城は決して田舎物の住[illegible]ない一昨夜花圓遊[illegible]脳は何んの事だ、第一[illegible]性格を解して居らぬ、八[illegible]き寄せの邊り坏を如何に[illegible]不自然であつた又八公が宅へ[illegible]を歌ふ坏は益以て見[illegible]物を馬鹿にして居る香花圓遊自[illegible]臭くなつて居るこれは仙[illegible]て居た爲かも知れぬ、兎[illegible]物中多くは東京ら場末の[illegible]

[illegible]端席邊りへ來る客よりも遙かに

眼が進歩

して居るのだ、今後は藝人でも仕打側でも此心を以て京城の客に見へんと到底成功は出來ぬのである(苦言生)

西小門通 料理店の不平

▽藪は突くな蛇が出るぞ

蠅を得て洋燈を望み、洋燈を點けて電燈瓦斯を點けれてどを欲するの徒輩か既に當地一二新聞紙に投書掲載せられしこともある西小門通り料理店一同と署したる投書更らに我社に舞込みたり全文に曰く

西小門通り朝鮮日報の先きに井戸の側の氷店は毎夜〳〵支那人や韓人に公然と二人の淫賣が惰の切賣を盛んに行つて居るが其筋で何のオトガメもなし吾々料理店で立派に酌婦の税金や又營業税を拂つてもやかましく云ふのにも拘はらず斯る氷店にて公に淫賣をしても差支なきや實に其筋では不公平の處置です何卒貴紙の公平なる新聞にて宜しくれ賴み申升

と、公平な新聞にてと來られては一肌脱がずばなるまいが先づ其前に聽きたきはれ手前方を其筋で此の頃の何時八釜敷仰云つたか、酌婦としての税金を拂つて居ても居ないものでも淫賣すれば罰せらるゝのは同じことなり然れば君等の抱へ酌婦が淫賣しても捉まらねば差支へないと同樣に氷屋の女が淫賣しても捉まらぬ如にすれば夫れで良いのだ、子判つたかね、オイ其所の藪には蛇が居るよ、突くな突くな

強姦犯人の起訴

▽告訴取下げの不許可

去月十六日午後九時頃北米倉町に於て強姦騒ぎありし事は當時探知し居りしたるが右事件は去る一日豫審終結し京城地方裁判所公判に附せられたり犯人は熊本縣上益城郡津森村平民當時北米倉町三十八番戸理髮職園田五郎(四三)前科三犯の曲物にして同日午後九時頃近隣某の長女某(十六)が入浴の爲め一人園田方前を通行せしより姦淫せん目的にて某に尾行し料理屋花の家附近に至りて某を呼び止め手を握り挑みたるも應ぜざる爲め花の家隣なる温突に押付け行若しくは脅迫して強姦の目的を達したるが爾後告訴の取下ありたるも被害者は重傷なるより告訴取下は檢事の許可なかりしと

● 貧からの盗みか 龍山元町二丁目住伊豫松山の生れ名本忠太郎(四五)といふは時には肴屋時には金魚賣りもしたり十三になる男の兒に餅賣をさせて父子二人淋しく暮らし居る者なるが同人の住家と裏向ひの九尺二間に詰め込まれたる三人の金魚賣りあり高橋、大西、永池といふ獨身者の揃いにて或夕方打連れて散歩に出懸け十時頃歸宅して見たるに永池が所有の衣類雑品消へて無くなつたり永池は青くなり名本方の裏口より駈込み右の次第を話し賊の入りたる模樣ばし有りしかと問ひしに名本は大に驚き成程何やら音もしたる樣にもありしが不在と知らねば氣にも留めず夫れはサテ飛でも無い出來事かな若し散歩にでも出るならば一言賴むと聲を懸け置く筈を若い人達は兎角不念勝ちなるが間違の基ぞと意見交りの親切面に永池は頭を掻きつゝ引退りしが其まゝにして夫れより數日の後三人組の金魚賣は田舎に行商に出懸けし事龍山署の耳に入り名本こそ怪しけれと署員を派して取調べしめたるに案の定贓品を發見したるより有無を言はさず縛り上げて警察へ引きしが此時既に衣類シャク二三點は龍山新市街土居質店に入質し居りどスマシタ奴も有ものか

● 打毆つた丈利得 龍山清水町に根本佐市(四八)といふ男あり不孝の兒亭といふは永登浦監獄に服役し居り不幸の親の佐市は其日の暮しも覺束なき貧乏なるが去頃韓人金某より米二升代二十二錢を買ひ一向代金を支拂はざるに金書房は立腹し弟を率ゐて佐市方に押懸け行き金を拂はずば擔うして呉れると佐市をブン毆つたり此の態を傍觀したる血氣の日本人は見兼ねて金書房を引つ捕へ投げ倒して今や鐵拳を喰はさんとする折り警官宙を飛むで駈け着けたり之れを見たる金書房の弟と件の若者とは逸早く逃亡したり兄の金書房は警察に引かれ散々目玉を頂戴し佐市は一週間以内に米代一金二十二錢也を支拂ふべく説諭されたり話を聞いても字に書いてもツマラヌこと夥し

● 婦女誘拐を頼む 福岡縣田川郡添田村今福田榮吉(二五)同福田榮吉(二一)は韓國京城なる福田七平(四〇)といふものより婦女誘拐を賴まれ去る二十日の夜同町料理屋改進樓の酌婦中村れ清外一名を巧く欺し込みて添田停車場に連れ出したるが一方改進樓にては二名の酌婦が逃走せしより打驚き捜索に着手したる矢先榮吉の兩人は何喰はぬ顏にて同方に立寄り仔細を聞きてそれは氣の毒なれば捜索の手傳ひせんといふに同方にては打喜び之を賴みしに兩人は捜索に出掛ける如く見せかけ酌婦を同郡猪位金村猪除の某方に連行きて預け置き添田に歸りて方角違ひの津野村邊までは足がつきしと云ひ觸らし毎日改進樓より馳走を受け居りしを同[illegible]

● 警察署で惚ける 大阪府中河内郡龍華村字安中十七番戸高田鶴吉私生子山野きぬ(三五)は明治四十一年七月或る奸者の甘言に欺かれ前借金三十圓にて仲居として渡韓以來親元には厘毛の金さへ送らず一時音信不通にて親元の方にても心配し居たる處近頃に至り突然送金す可くに付承諾證委任狀印鑑證明等の送付依頼狀を送致せしに親元にては其理由不明殊に實父鶴吉は人力車夫を業として糊口を凌ぎ居るが最頭より病氣に罹り困難し居る事なれば家事の補助受度きに付歸國説諭方其筋に願出しがきぬは目下青葉町三十三番戸料理屋中家事梅尾芳吉方にて酌婦として淫賣に精勵中とて其筋に呼出し取調しに同人は目下前借金百二十圓許りありて到底歸國致す事を得ずと申立るより親元よりは最初の前借三十圓なりしと云ふより何故如斯重なりしか色さ中來り居る旨聞かせしに尤も三十圓なりしも重なりに重なり百二十圓になりしと云ふより何故如斯重なりしか色男でも見付けしかどの警官の問ひに對しあら嫌だわあんな事をと笑ひ話し私だつて御目掛通りの女容貌も惡るくないから色男の三四人はありますので時には達て引きしたる爲めどの事に警官は不心得を諭し郷里の困難を思ふ可との説諭にかしてまりましたと引取たり

● 撲る奴が撲らる 御成町三十七番戸料理屋末廣增吉方隣り鈴木虎藏は口入屋業者なるが曩に末廣方にて酌婦逃走せし折り鈴木は開城に心當りあるに付是非取押へ方依賴し呉れとのことに末廣も好意を無にするも氣の毒と旅費金五圓前金にて渡せしに鈴木は子分二人を連れ開城に行きしも心當りの處に居らず新幕方面に移轉せし形跡あるより一應歸京し其翌日新幕に行きしも同じく目的は遂せず歸京したり然るに其後逃走せし酌婦は警察の手に取押へられしに鈴木は末廣に對し開城新幕迄の前後二回分の旅費を計算し十一圓餘を督促せしに支拂ぬより去る六月三十日最後の談判に懸りしに末廣は支拂義務なしと主張し互に喧嘩口論となり鈴木は傍にありし算盤を以て末廣の頭部及肩等を毆打し創傷を負せたるより末廣は昨二日其筋に告訴せりと

● 横着者處刑さる 大阪府北區稲島中町一丁目五百六番戸當時住所不定笠島房次郎(二七)は六月二十四日群山丸にて仁川港に入港せし者なるが乘船中倉元百一郎なる者と心安くなりしを寄貨とし共に上陸後同金旅館に於て休因に打上後直に平壤に乘込むべしと[illegible]

● 韓人の頓死 一昨一日午後八時頃西部屋馬洞警第三十號居住裵具殿朴在鶴(三六)は腦充血にて頓死せし由にて西部署より警官並に警醫士を同行檢視を終り死體は洞長金昌根に引渡したり

● 東券新妓の履歴 佐賀縣平民松井さと(二六)は奴と名乘り兵庫縣平民藤原ぬひ(二七)は妻と名乘り福岡縣平民廣垣まさ(二二)は千代吉と名乘り東券番より何れも今晩はと昨二日より現はれしが彼等は全部履歴付にして奴は平壤料理屋日清樓に於て奴と名乘り妻は明治三十九年より四十一年迄新町遊廓月下樓に於て文之助と名乘り二枚鑑札で漢京の醉士連を手玉に乘し買つ妓にして千代吉は仁川八坂樓に於て吾妻と稱せし藝妓にて今般前借なしの叩き分け

● 藝妓の廢業 永樂町三丁目清華亭藝妓久之助事山和とり(二二)在勤中子を生んだこともあるものなるが去る三十日限り廢業せりとは先づは目出度しく

● 轉居 明治町二丁目百二十五番戸 花田節

● 壽座 同座二日の代番組左の如し 厄拂ひ(金平)ゆび寫し繪獅子の曲(小つま)音曲手れぎり(金登喜)玉子の太鼓(金遊齋)常盤津並に浮世ぶし(市馬)羽團扇(金勝)音曲はなし(花圓遊)曲藝いろ〳〵(銀治郎)尺八曲俗歌種々(花堂)かたみ別け(金馬)大切新作喜劇地獄

● 仁川の東京大相撲 ▽初日入場者三千名 多大の人氣を以て迎へられたる東京大相撲は七月一日より晴天二日間興行せらるゝ筈なりしが二日は生憎の雨天の爲め遂ひに休場となれり初日の勝負及び二日目の取組を左に報ずべし

勝		負
小鳴戶(ぱつ)		駒勇
八甲山(うは)		五所車
佐の川(かみ)		雷ケ浦
近江富士(よ)		鏡川
龍ケ崎(よ)		鳳
大の川(は)		玉椿
國見山(よよ)		兩國
常陸山(すよ)		朝汐

勝		負
日本海(すけ)		金の花
佐賀海(けは)		石山
大蛇潟(すよ)		紫雲龍
八島山(預)		梅の花
大湊(へ)		黑瀨川
碇潟(これ)		七州山
駒ケ嶽(分)		梅ケ谷

二日目取組

大蛇潟	鏡川	十州山
龍ケ崎	八島山	兩國
大湊	朝汐	梅ケ谷
玉椿	碇潟	常陸山
鳳	大の川	
國見山	駒ケ嶽	

廣告

● 漢川區裁判所模樣替修繕及增築工事右七月十一日入札ニ附ス (建築所)

● 生徒募集 第一學期(中學校第一學年程度)を新設し七月五日より授業を開始す入學希望の者は來校の上承合せらるべし(夏季休業なし) 京城旭町二丁目 私立 京城夜學校

公告 第二十八號 韓國駐劄陸軍軍樂隊ハ來ル七月十日(第二日曜日)ヨリ毎月第二、第四ノ日曜日午後七時ヨリ倭城臺公園奏樂堂ニ於テ一般居留民ノ爲メ奏樂相成候條此段公告ス 但シ雨天又ハ支障ノ節ハ次ノ日曜日ニ順延ノコト 明治四十三年七月二日 京城居留民團民長 古城菅堂

● [illegible] 後八時より同教師の傳道説教「必然的救」あり一般人士の參聽を希望すと ● 京城[illegible]教會 [illegible]日曜學校同十時[illegible]禮拜説教「仰ぎ瞻よ」 ● [illegible]の金光教[illegible] 牧監佐藤範雄師は三日午後二時より[illegible]に於て講演會開催一般の參聽[illegible] ● 日本メソヂスト教會 古市[illegible]内の同教會にては二日午前九時より山口照平氏の聖書研究同十時半より木原牧師の禮拜説教「宇宙の中心」午後八時より同教師の傳道説教「靈[illegible]」あり一般人士の參聽を希望す

七月號 實業界 ◎◎明治實業界の失脚者 現代實業界の犧牲となりし悲慘の實業家…田尻博士 ◎他山の石たる獨逸財政改革の結果…添田 ▲現代青年の誤れる修養…澤柳 ▲他人の惡口を云ふ惡弊…新渡戶 ▲予が七十年の經驗教訓…安田 ▲地方の衰退救濟策…桑谷 ◎局外者及び實業家の觀たる安田善次郎 ▲ダレ氣味なる今の青年…渡邊 ▲三百圓の資本で一家維持の法 ▲世評に對する予の覺悟…大倉 ▲歐米商店の賣出し珍報 ◎◎修養によりて幅の廣き人物たらんことを心掛けよ…一本官 ◎如斯赤裸々にしたる福原有信 禿頭翁の面目躍如 一册定價十一錢

七月號 婦女界 ◎◎口繪 洗崖書伯筆紫陽花(石版)▲大下藤伯筆夏の猫苗代湖(石版)▲名士の家庭▲令孃鑑▲瑞西の風光其他 ◎下田次郎先生の新女訓いよ〳〵本號より揭げらる ▲諸大家の觀たる避暑法と適地 ▲澤柳氏の女子高等教育不要論 ▲勤王家武市氏未亡人の苦心談 ▲目下流行の腸質扶斯の看護法 ◎良人として擇ぶべき男子の容貌 ▲金子子爵の現代女學生氣風觀 ▲夫の放蕩を直す簡易な催眠術 ▲秋山博士の大隈翁家庭實見談 ▲夏の衣食住其他有益記事澤山 ◎◎逆境當時慘憺たる苦心實驗…仁尾惟茂夫人繁子 ◎私の實驗したる獨身生活の苦痛…井口あぐり女史 一册定價十五錢

韓國代理店 京城本町二丁目 日韓書房

[illegible] 同文館 振替貯金口座東京一五一番 [illegible]

朝鮮 第二十九號(七月號) 定價 一部二十五錢 半ケ年分一圓五十錢

第三世統監の方針如何 ▲新[illegible] ▲韓語研究の要…△△△△ 舊人物…釋尾旭邦 ▲對韓國政策及所感…相續法私案 海野法學士 大隈伯爵 ▲韓國經濟事情及[illegible] 救濟策…竹村米國法學博士 ▲高麗彫[illegible] ▲暴徒史論…雲水萍客 時考…淺見法學士 ▲高麗圓證國師塔銘之碑…塚原熹 考…本間九介 ▲日韓名士と[illegible] 局觀…渡邊天倪 ▲在留邦人と良風振起 ▲米人の對韓[illegible] ▲某高官と語る 及米國の經濟狀況…頭本元貞氏談 ▲駐劄憲兵隊司令官明石少將を訪ふ…天[illegible] ▲旭邦生 ▲林伯の俣ア平民華族…東京支局記者 ▲秋聲氏を訪ふ…東京支局記者 難波生 ▲韓國紙[illegible] ▲班城の諸學校一瞥…堀越書助 ▲韓國の農事改良…中村農務局長 ▲羅漢めぐ…天人兒 ▲滿洲汽車栗毛…東京[illegible] ▲北韓…村田老虎嘯 ▲ヨボ政客の昨今 ▲一記者…旭邦生 ▲新緑 ▲大韓醫院の看護婦 ▲の一旅…記者 ▲黃金の罪…東京黑龍生 ▲靜寂…勝村[illegible] ろ…▲朝鮮問答 ▲時々片々 ▲風聞駄語

發行所 京城本町九丁目 朝鮮雜誌社 (電話一二[illegible])

大賣捌所 京城本町二丁目 日韓書房 (電話一[illegible])

美術半襟帶締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九番
ゑり德商店

身體の丈夫は一生の德
弱き御婦人は中將湯を召上れ
後良藥
本舗 東京 津村順天堂

代理店 京城 新井藥房

熱心篤志多年爲斯道於薀微義奥旨恍然似有得者難盡推斷聰明融通無碍茫洋靜怡霊也
易斷 觀相 敎授 京城本町五丁目
館主 土御門派 陰陽師
三一館

精撰
秋蒔 新種大販賣
●種子入說明附美本一冊
ハガキ御申込次第無代進呈
東京内藤新宿電車終點際
日本種苗株式會社

入院隨意
京城西小門通六番戸
菅醫院
電話一三二五番

大營養新藥
人體の肥料
牛乳の數倍
次亞燐
次亞燐ムチンナドヲ飲ムモダナイ
發賣元 大阪市... 小西久兵衛
◎賣捌は全國各藥店にあり

此時で頗いゝ氣持

消化と毒けし
完全ナル懷中藥
THE JINTAN
仁丹
仁丹略効
▲悪酔宿酔 ▲舟車よひ ▲頭痛目眩 ▲胸腹痛み ▲氣の鬱ぎ ▲吐き下し ▲口熱口臭 ▲悪病豫防

●大丈夫!
酒も莨も大に飲むべし
何故か?
仁丹あり?
▲然り仁丹は立處に酒莨の毒を
けして其味を増す
▲然り仁丹は諸君に最も忠實なる夥多の効顯有
御試しあれ
代理店 京城 新井藥房

廣告
前間恭作氏著
韓語通
定價壹圓五十錢 郵稅十錢
今回貳千部に限り壹圓廿五錢にて販賣可致候間御注文の程奉希候
和洋金物商
韓國京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
長電話四五番 振替貯金口座韓國(二五六)

祝開店七週年大賣出し
弊店儀開業以來大方各位の御引立に預り日增隆盛に相成難有仕合に奉存候就ては聊か御禮の印として特別の安價を以て販賣仕候間不相變多少に不拘御用命仰付被下度奉願上候
美術、書畫、襖、壁、天井張、
表具師
京城壽町一丁目
桂萬吉
(電話六二七番)
同岡崎町 矢島鐵工所筋向
桂龍山支店
(電話架設中)

本店開業拾五ヶ年祝
弊堂開業後滿十五年今日の隆盛は全く各位御愛顧の賜ものに外ならず之に就き此際祝意を表すると共に平素の御愛顧に酬ひんが爲め且つ層一層販路擴張の目的にて
「タバン」懷中時計三千個及び「アンソニヤ」
掛置時計三百個を限り四月一日より九月三十日迄本社の命に依り何方樣へも直段にて販賣することゝ相成從つて各位の御便利を計り左記特約店を設置致候間最寄りの店にて續々御購求の程願上度此段廣告候也 敬白
瑞西タバン懷中時計會社韓國代理店
米國ウオルサム時計韓國特約販賣店
米國アンソニヤ掛時計韓國特約販賣店
携帶電燈各種特約販賣店
時計御商 仁川本町三丁目(電話七〇五番) 喜多金光堂本店
時計御小賣 京城本町二丁目(電話一〇二五番) 喜多金光堂支店
右特約店 京城本町一丁目憲兵分遣所前(電話一三八番) 金化堂時計舖
各地方より御注文は發送實費申受候

六月一日ヨリ
岐阜提灯賣出し
利益なし元價の
一張二十五錢
東京足袋
本店 京城大和町一丁目(日の出橋際)
東京
大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

齒科治療
ドクトル 中村安子
本町六丁目(敷そば横町)電話一五八三

入院隨意
內外科 小兒病 梅毒淋病
院長 陸軍軍醫正 高井貞治
京城壽町三丁目
高井醫院
電話二二六

夏の和樂園
御料理席貸
高田家
電九三七
不相變御引立之程乞

入院隨意
京城壽町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主 醫學得業士 中島貞信

諸建築請負業
ペンキ塗
永樂町二丁目(赤門通り)
渡部正美
(電話一〇二八番)

京城曙町(電話二八七番)

◎◎◎滋養と牛乳◎◎◎
馬車配達
純良 牛乳
京城...町
岡野牧場
電話壹〇六九番
◎◎◎衛生と消毒◎◎◎

營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類
委託販賣
東京ランバート商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
...
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 京城南大門通一丁目 電話二九六...

奥出洋服店
京城櫻井町五十七番ノ一(電話一二五五番)

無比勉強
かやわた
關戸蚊帳 株式會社 韓國代理店
吳服太物
洋反蒲團
調進
京城明治町一丁目
唐川商店
電話二六一番
新案特許製綿韓國一手特約店

印章彫刻
ゴム印彫刻
諸官衙御用達
京城本町四丁目
赤帽子號印舖
電話九三番
奥野岩太郎

京城明治町一丁目勸商場前(電話一二九八)
金錢貸借 電話讓渡 土地家屋 老舖賣買 人事百般其他
周旋業
明治屋

特約販賣 自製
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
ビール 新茶 大賣出し
(電話二五一番)

東京火災保險株式會社(海上運送)
明治廿年七月創立
資本金一千萬圓
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番
代理店 本町四 山口呉服店 電話九番